

表 6.8-56 ハイタカに係る予測結果

種名 (分類群)	ハイタカ (鳥類)	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL：準絶滅危惧 県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	鹿児島県内では、薩摩半島、大隅半島、甌島列島、草垣群島、屋久島、種子島、口之島、中之島、平島、悪石島、小宝島、宝島、与論島で確認されている。鹿児島県内で繁殖は確認されていない。生息環境は、河川及び里山から森林まで広く分布しているが、平地では少ない。	
確認状況	冬季に飛行場周辺の樹林上空を飛行する個体が1例確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	夜間工事における工事用照明の使用により、本種の生息環境の一部に変化が生じるおそれがある。 しかし、工事用照明の影響を大きく受けるおそれがある対象事業実施区域及びその周辺での本種の繁殖は確認されていないことから影響は限定的であり、ハイタカの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	ハイタカは対象事業実施区域内（飛行場周辺）の上空で確認されたものの、本種を含む猛禽類の行動範囲は広く、当該地を採餌場所等の生息環境の一部として利用していたものと考えられる。飛行場（延伸された滑走路等）の存在により、生息環境の一部が改変されるものの、同様の環境は対象事業実施区域外に広く存在する。 以上より、ハイタカの生息環境の一部が影響を受けるものの、その範囲は限定的であり、対象事業実施区域外の生息環境は残存することから、地域として本種の生息環境は維持されると予測する。
	航空機の運航	ハイタカは航空機が飛行する飛行場周辺の上空で生息が確認されているものの、将来の航空機の飛行経路上では確認されていない。 既往のバードストライク発生状況調査において、ハイタカが衝突した記録はない。また、将来増加する航空機の便数は1日往復1便のみであり、現状と大きな変化はないと考えられる。 以上より、航空機の運航によりバードストライクが発生する可能性があるものの、その可能性は小さく、大きな影響はないと予測する。
	飛行場の施設の供用	施設照明により本種の生息環境が影響を受けるおそれがある。しかし、航空機の離着陸時間帯は現況と変わらず、夜間に航空機が運航する計画はないことから、現況からの変化はなく新たな影響は生じないと予測する。

表 6.8-57 サシバに係る予測結果

種名（分類群）	サシバ（鳥類）	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL：絶滅危惧Ⅱ類 県 RDB：絶滅危惧Ⅱ類	
分布・一般生態等	鹿児島県内では、県本土全域に夏鳥として渡来し、繁殖する。また、種子島以南で越冬し、南西諸島で多数みかける。生息環境は低山～山地の森林、里山や農耕地で、主に里山で繁殖し、周辺の水田で採餌する。	
確認状況	秋季のルートセンサス時に飛行場周辺の樹林及び耕作地上空を飛行する個体が1例確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	夜間工事における工事用照明の使用により、本種の生息環境の一部に変化が生じるおそれがある。 しかし、工事用照明の影響を大きく受けるおそれがある対象事業実施区域及びその周辺での本種の繁殖は確認されていないことから影響は限定的であり、サシバの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	本事業においてサシバの確認環境の改変は行わない。また、調査地域におけるサシバは、越冬個体である可能性が高く、繁殖している可能性は低い。 以上のことから、本事業において、サシバの確認環境の改変は行われず、当該地で繁殖する可能性も低いことから、本種の生息環境への影響はないと考えられる。
	航空機の運航	サシバは航空機が飛行する飛行場周辺の上空で生息が確認されているものの、将来の航空機の飛行経路上では確認されていない。 既往のバードストライク発生状況調査において、サシバが衝突した記録はない。また、将来増加する航空機の便数は1日往復1便のみであり、現状と大きな変化はないと考えられる。 以上より、航空機の運航によりバードストライクが発生する可能性があるものの、その可能性は小さく、大きな影響はないと予測する。
	飛行場の施設の供用	施設照明により本種の生息環境が影響を受けるおそれがある。しかし、航空機の離着陸時間帯は現況と変わらず、夜間に航空機が運航する計画はないことから、現況からの変化はなく新たな影響は生じないと予測する。

表 6.8-58 タネアオゲラに係る予測結果

種名（分類群）	タネアオゲラ（鳥類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	アオゲラは日本固有種であり、タネアオゲラは屋久島と種子島にのみ分布する亜種である。本亜種は平地から山地の広葉樹林帯に生息する。太い木のある広葉樹林等に生息し、スギやヒノキの針葉樹林帯には生息しない。	
確認状況	土砂採取区域の改変区域内外の樹林で複数回確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	夜間工事における工事用照明の使用により、本種の生息環境の一部に変化が生じるおそれがある。 しかし、工事用照明の影響を大きく受けるおそれがある対象事業実施区域及びその周辺での本種の繁殖は確認されていないことから影響は限定的であり、タネアオゲラの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	土砂採取区域の存在により確認環境である樹林の一部が直接改変されるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。また、調査範囲内において本種の繁殖は確認されておらず、調査範囲外の樹林を主な繁殖地として利用しているものと考えられる。 以上のことから、土砂採取区域の存在により生息環境の一部に変化が生じるものの、その区域は限定的であり、また、繁殖地の改変は行われないことから、地域としてタネアオゲラの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-59 ハヤブサに係る予測結果

種名 (分類群)	ハヤブサ (鳥類)	
保護上重要な種の選定基準	種の保存法：国内希少野生動植物種 環境省 RL：準絶滅危惧 県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	鹿児島県内全域にほぼ一年中生息するが、冬季に観察例が多い。繁殖期には主に崖のある海岸で見られ、冬季には崖のある海岸や海沿い、内陸の広い農耕地などで見られる。	
確認状況	秋季に飛行場周辺の樹林上空を飛行する個体が 1 例確認された。巣材運び等の繁殖に係る行動の確認はなかった。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	夜間工事における工事用照明の使用により、本種の生息環境の一部に変化が生じるおそれがある。 しかし、工事用照明の影響を大きく受けるおそれがある対象事業実施区域及びその周辺での本種の繁殖は確認されていないことから影響は限定的であり、ハヤブサの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	ハヤブサは対象事業実施区域内（飛行場周辺）の上空で確認されたものの、本種を含む猛禽類の行動範囲は広く、当該地を採餌場所等の生息環境の一部として利用していたものと考えられる。飛行場（延伸した滑走路）の存在により、生息環境の一部が消失するものの、同様の環境は対象事業実施区域外に広く存在する。 以上のことから、ハヤブサの生息環境の一部が影響を受けるものの、その範囲は限定的であり、対象事業実施区域外の生息環境は残存することから、地域として本種の生息環境は維持されると予測する。
	航空機の運航	ハヤブサは航空機が飛行する飛行場周辺の上空で生息が確認されているものの、将来の航空機の飛行経路上では確認されていない。 既往のバードストライク発生状況調査において、ハヤブサが衝突した記録はない。また、将来増加する航空機の便数は 1 日往復 1 便のみであり、現状と大きな変化はないと考えられる。 以上より、航空機の運航によりバードストライクが発生する可能性があるものの、その可能性は小さく、大きな影響はないと予測する。
	飛行場の施設の供用	施設照明により本種の生息環境が影響を受けるおそれがある。しかし、航空機の離着陸時間帯は現況と変わらず、夜間に航空機が運航する計画はないことから、現況からの変化はなく新たな影響は生じないと予測する。

表 6.8-60 ヤクヤモリに係る予測結果

種名 (分類群)	ヤクヤモリ (両生類・爬虫類)	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL: 絶滅危惧Ⅱ類 県 RDB: 情報不足	
分布・一般生態等	大隅諸島、九州南部及び北西部に分布しており、主に岩場、森林、ミカン畑、ヤシの枯れた葉の隙間、ガジュマルの幹の隙間などに生息する。	
確認状況	飛行場改変区域内外、土砂採取区域の改変区域外で複数個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	本種は夜間に活発に活動することから、夜間工事における工事中照明の使用により、本種の生息環境に変化が生じるおそれがある。 以上より、ヤクヤモリの生息環境が影響を受けると予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) 又は土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。 以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域として対象種の生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	施設照明により本種の生息環境が影響を受けるとおそれがある。しかし、航空機の離着陸時間帯は現況と変わらず、夜間に航空機が運航する計画はないことから、現況からの変化はなく新たな影響は生じないと予測する。

表 6.8-61 ヒメマルゴキブリに係る予測結果

種名 (分類群)	ヒメマルゴキブリ (昆虫類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB: 情報不足	
分布・一般生態等	鹿児島県内では、大隅半島佐多岬、下甕島、中之島、宝島、奄美大島、徳之島、沖永良部に記録があるが、いずれも古い記録で最近の記録はない。成虫、幼虫とも腐木又はそれに生じたキクラゲなどの菌類や樹液に集まる。	
確認状況	飛行場改変区域内外樹林内の枯れ枝や倒木の樹皮下で確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	本種は夜間に活発に活動することから、夜間工事における工事中照明の使用により生息環境に変化が生じるおそれがある。 以上より、工事中照明の使用によりヒメマルゴキブリの生息環境が影響を受けると予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) の存在により、ヒメマルゴキブリの確認地が直接改変を受ける。また、直接改変後に当該環境が復元されることはない。 以上より、ヒメマルゴキブリの生息環境は影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	施設照明により本種の生息環境が影響を受けるとおそれがある。しかし、航空機の離着陸時間帯は現況と変わらず、夜間に航空機が運航する計画はないことから、現況からの変化はなく新たな影響は生じないと予測する。

表 6.8-62 コブナナフシに係る予測結果

種名 (分類群)	コブナナフシ (昆虫類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	鹿児島県内では、佐多岬、屋久島、口永良部島、悪石島、奄美大島、与路島、徳之島で記録がある。林内や林縁の低木、防風林沿いの草むらなど地面の低いところに生息している。	
確認状況	飛行場改変区域内樹林の枯れ枝において複数個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	本種は夜間に活発に活動することから、夜間工事における工事用照明の使用により生息環境に変化が生じるおそれがある。以上より、夜間照明の使用によりコブナナフシの生息環境が影響を受けると予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) の存在により、コブナナフシの確認地が直接改変を受ける。また、直接改変後に当該環境が復元されることはない。以上より、コブナナフシの生息環境は影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	施設照明により本種の生息環境が影響を受けるおそれがある。しかし、航空機の離着陸時間帯は現況と変わらず、夜間に航空機が運航する計画はないことから、現況からの変化はなく新たな影響は生じないと予測する。

表 6.8-63 コガタノゲンゴロウに係る予測結果

種名 (分類群)	コガタノゲンゴロウ (昆虫類)	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類	
分布・一般生態等	本州ではほぼ絶滅状態のようであるが、九州では比較的個体数が多く、鹿児島県では最も普通に見られる大型のゲンゴロウ類である。平地から低山地の水生物の生える池沼、放棄水田などに生息する。	
確認状況	飛行場周辺において1個体が確認された。本種の主な生息環境は、池沼等の湿地であるが、調査範囲内の湿地において、本種の生息は確認されなかった。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	本種は走光性を有しており、夜間工事における工事用照明に誘引されるおそれがある。以上より、夜間照明の使用によりコガタノゲンゴロウの生息環境が影響を受けると予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) の存在により、コガタノゲンゴロウの確認地の樹林は直接改変を受ける。しかし、調査範囲内に分布する湿地において本種は確認されず、調査範囲外から飛来した個体が確認された可能性がある。このため、本種の主要な生息環境は調査範囲外に位置すると考えられ、生息環境への影響は小さいと考えられる。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	施設照明により本種の生息環境が影響を受けるおそれがある。しかし、航空機の離着陸時間帯は現況と変わらず、夜間に航空機が運航する計画はないことから、現況からの変化はなく新たな影響は生じないと予測する。

表 6.8-64 ヤマトアシナガバチに係る予測結果

種名 (分類群)	ヤマトアシナガバチ (昆虫類)	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL : 情報不足	
分布・一般生態等	本州、四国、九州、琉球に分布する。平地、低山地に生息し、草本の葉裏や樹木の細枝、人家の軒下、壁などに営巣する。	
確認状況	土砂採取区域及びその周辺の道路沿い草地において数個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	夜間工事における工事用照明の使用により、本種の生息環境の一部に変化が生じるおそれがある。 しかし、本種は夜間にほとんど活動しないと考えられる種であり、土砂採取区域及びその周辺における工事用照明による影響は限定的であることから、ヤマトアシナガバチの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	飛行場・土砂採取区域の存在	土砂採取区域の存在により、ヤマトアシナガバチの確認環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。 以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてヤマトアシナガバチの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-65 ヤマタニシに係る予測結果

種名 (分類群)	ヤマタニシ (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 消滅危惧Ⅱ類(地域個体群)	
分布・一般生態等	本州、四国、九州、済州島、甌島列島、種子島、屋久島、草垣群島、口永良部島、口之島に分布する。本種は照葉樹林の林床の落葉層に生息している。分布は広範囲だが、離島個体群は個体数が少ない。	
確認状況	飛行場改変区域内外の樹林で多数の個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接改変される。 以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-66 ミジンヤマタニシに係る予測結果

種名（分類群）	ミジンヤマタニシ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	北海道、本州、四国、九州、宇治群島向島、大隅諸島、トカラ列島、奄美群島、沖縄本島、久米島に分布する。本種は、照葉樹林の林床の落葉層に生息している。比較的湿った林内を好むため、森林伐採による乾燥化で生息域が減っている。	
確認状況	飛行場改変区域内外、土砂採取区域改変区域内外の周辺樹林の広域で分布が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてミジンヤマタニシの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-67 ヒメヤマククルマガイに係る予測結果

種名（分類群）	ヒメヤマククルマガイ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	大隅諸島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。生息地には比較的多いが、森林の減少に伴って生息地が減っている。	
確認状況	飛行場改変区域内外、土砂採取区域改変区域内外樹林の倒木下や落葉中で多数確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてミジンヤマタニシの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-68 サツمامシオイに係る予測結果

種名（分類群）	サツمامシオイ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL：準絶滅危惧 県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	薩摩地方、大隅地方に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。生息地が自然林に限られており、林の減少に伴い減っている。	
確認状況	飛行場改変区域内の樹林で4個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）の存在により、サツمامシオイの生息地が直接改変を受ける。以上のことから、本種の生息環境は影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-69 タネガシマムシオイに係る予測結果

種名（分類群）	タネガシマムシオイ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL：準絶滅危惧 県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	大隅諸島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息しており、生息にはある程度湿度の保たれた森林が必要である。	
確認状況	土砂採取区域改変区域内外の周辺樹林の、朽木下や落葉中で確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。 以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてタネガシマムシオイの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-70 アズキガイに係る予測結果

種名（分類群）	アズキガイ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	本州、四国、九州、対馬、甌島列島、大隅諸島、トカラ列島に分布する。本種は照葉樹林の林床の落葉層に生息している。落葉層が発達した森林に多いため、森林伐採によって生息地が減っている。	
確認状況	飛行場改変区域内、土砂採取区域改変区域内外の周辺樹林の倒木下や落葉中で多数確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。 以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてアズキガイの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-71 フナトウアズキガイに係る予測結果

種名（分類群）	フナトウアズキガイ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	大隅諸島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。落葉層が発達した森に多いため、森林伐採によって生息地が減っている。	
確認状況	飛行場及び土砂採取区域改変区域内外樹林の広い範囲で多数の個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接改変される。 以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-72 タネガシマゴマガイに係る予測結果

種名 (分類群)	タネガシマゴマガイ (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	大隅諸島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。落葉層が発達した森に多いため、森林伐採によって生息地が減っている。	
確認状況	飛行場変更区域内、土砂採取区域変更区域内外樹林の朽木下や落葉中で多くの個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) 及び土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接変更を受けるものの、変更区域外の生息環境に変化はない。以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてタネガシマゴマガイの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-73 ヤクシマゴマガイに係る予測結果

種名 (分類群)	ヤクシマゴマガイ (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL : 準絶滅危惧 県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	屋久島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。生息地には比較的多いが、森林の減少に伴って生息地が減っている。	
確認状況	飛行場変更区域内、土砂採取区域変更区域内外樹林全域の朽木下や落葉中で多くの個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) 及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接変更される。以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-74 チャイロキセルガイモドキに係る予測結果

種名 (分類群)	チャイロキセルガイモドキ (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL : 絶滅危惧Ⅱ類 県 RDB : 絶滅危惧Ⅱ類	
分布・一般生態等	佐多岬、大隅諸島に分布する。本種は樹上性で、照葉樹林の樹幹に付着している。生息にはある程度湿度の保たれた森林が必要である。近年、人為的な採集によって減少しており個体数は少ない。	
確認状況	飛行場変更区域内及び土砂採取区域変更区域外樹林の樹上で主に確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) 及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接変更される。以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-75 ピントノミギセルに係る予測結果

種名（分類群）	ピントノミギセル（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	徳島県、大分県、大隅諸島、トカラ列島に分布する。本種は朽木を好み、照葉樹林などの林内の倒木下や内部に生息している。生息地が自然林に限られており、林の減少に伴って減っている。	
確認状況	飛行場改変区域内外及び土砂採取区域改変区域内の落葉中で確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接改変される。以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-76 ハラブトノミギセルに係る予測結果

種名（分類群）	ハラブトノミギセル（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL：準絶滅危惧 県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	大隅諸島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。生息地が自然林に限られており、林の減少に伴って減っている。	
確認状況	飛行場及び土砂採取区域改変区域内外樹林広い範囲の朽木下や落葉中で多数の個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接改変される。以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-77 タネガシマギセルに係る予測結果

種名（分類群）	タネガシマギセル（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL：準絶滅危惧 県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	大隅諸島に分布する。本種は殻高 17.5mm、殻径 4.0mm 程度の小型の貝で、照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息しており、生息にはある程度湿度の保たれた森林が必要である。	
確認状況	土砂採取区域改変区域内外の樹林等の朽木下、落葉中で確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてタネガシマギセルの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-78 ハラブトギセルに係る予測結果

種名 (分類群)	ハラブトギセル (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	大隅諸島に分布し、落葉層の中に生息している。林縁部や二次林にも多く、草むらの枯れた草の中にも生息している。森林の減少に伴って、生息地が減っている。	
確認状況	飛行場及び土砂採取区域改変区域内外樹林の樹幹等で多数の個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) 及び土砂採取区域の存在により生息環境の一部が直接改変を受けるものの、改変区域外の生息環境に変化はない。以上より、生息環境に変化が生じるものの、その範囲は限定的であり、地域としてハラブトギセルの生息に大きな影響を与えるものではないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-79 ヤコビギセルに係る予測結果

種名 (分類群)	ヤコビギセル (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	屋久島と種子島に分布する。本種は殻高 15mm、殻径 3.9mm 程度の小型の貝で、照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息しており、生息にはある程度湿度の保たれた森林が必要である。	
確認状況	土砂採取区域の朽木下で確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	土砂採取区域の存在により、確認環境が直接改変を受ける。以上より、ヤコビギセルの生息環境は影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-80 トカラコギセルに係る予測結果

種名 (分類群)	トカラコギセル (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL : 絶滅危惧 I 類 県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	本州、四国、宮崎県、屋久島、三島村、奄美大島、沖永良部島に分布する。本種は樹上性で照葉樹林の樹幹に付着している。本種の生息には、ある程度湿度の保たれた森林が必要である。人目に付きやすく、人為的な採集によって数が減っている。	
確認状況	飛行場改変区域周辺の樹林において確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	トカラコギセルの確認環境は直接改変を受けず、生息環境に変化はない。以上より、本種の生息環境に影響はないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-81 ヤクシマダワラガイに係る予測結果

種名 (分類群)	ヤクシマダワラガイ (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	鹿児島県の大隅諸島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。生息地が自然林に限られており、林の減少に伴い減っている。	
確認状況	飛行場改変区域の樹林で1個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) の存在により、ヤクシマダワラガイの確認環境が直接改変を受ける。 以上より、本種の生息環境が影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-82 ミジンナタネガイに係る予測結果

種名 (分類群)	ミジンナタネガイ (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	本州、九州に分布し、山麓のやや湿った落葉層に生息している。生息地が自然林に限られており、林の減少に伴って減っている。	
確認状況	飛行場改変区域の樹林において確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場 (延伸した滑走路等) の存在により、ミジンナタネガイの確認環境が直接改変を受ける。 以上より、本種の生息環境は影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-83 カサキビに係る予測結果

種名 (分類群)	カサキビ (陸産貝類)	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB : 準絶滅危惧	
分布・一般生態等	本州、四国、九州に分布する。本種は殻高 3.5mm、殻径 2.8mm 程度の微小な貝で、照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。	
確認状況	土砂採取区域周辺の樹林 1 箇所の朽木下で 1 個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	カサキビの確認環境は直接改変を受けず、生息環境に変化はない。 以上より、本種の生息環境に影響はないと予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-84 ヒメカサキビに係る予測結果

種名（分類群）	ヒメカサキビ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	環境省 RL：準絶滅危惧 県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	本州、三宅島、八丈島、四国、九州、屋久島、黒島、口之島、中之島、悪石島、奄美大島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。生息地が自然林に限られており、林の減少に伴って減っている。	
確認状況	飛行場改変区域の樹林、土砂採取区域改変区域内外樹林の朽木や落葉中で確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接改変される。 以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-85 ヒメベッコウに係る予測結果

種名（分類群）	ヒメベッコウ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	本州、四国、九州、五島（福江島）、屋久島、伊豆諸島に分布し、照葉樹林を中心とした林内の林床の落葉層に生息している。	
確認状況	飛行場及び土砂採取区域改変区域内外樹林の倒木下や落葉中で確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接改変される。 以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—

表 6.8-86 ヤクシマヒメベッコウに係る予測結果

種名（分類群）	ヤクシマヒメベッコウ（陸産貝類）	
保護上重要な種の選定基準	県 RDB：準絶滅危惧	
分布・一般生態等	本州、四国、九州、屋久島に分布する。本種は照葉樹林を中心とした林床の落葉層に生息している。生息地が自然林に限られており、林の減少に伴って減っている。	
確認状況	飛行場及び土砂採取区域改変区域内外樹林の倒木下や落葉中で多くの個体が確認された。	
予測結果	造成等の施工による一時的な影響	—
	飛行場・土砂採取区域の存在	飛行場（延伸した滑走路等）及び土砂採取区域の存在により確認個体数の半数以上が分布するエリアが直接改変される。 以上より、本種の生息環境のほとんどが影響を受けると予測する。
	航空機の運航	—
	飛行場の施設の供用	—